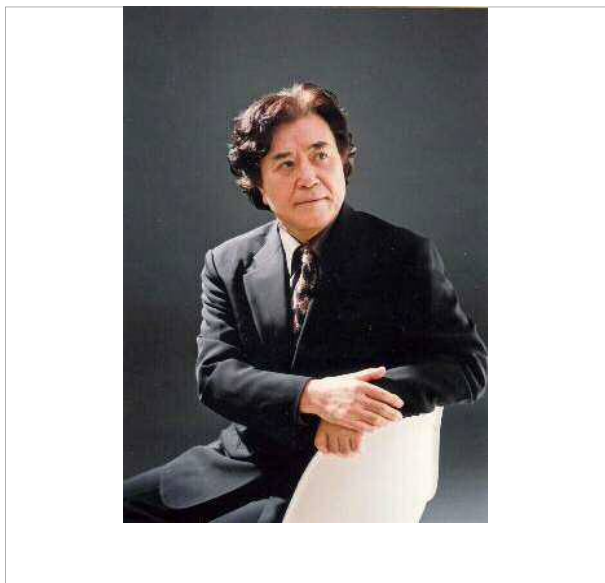


芸術文化選奨

受賞年度：平成13年度
 受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	おくむら こうへい 奥村 晃平		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所		会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p>分野： 声楽</p> <p>多年にわたり、多くのオペラやコンサートのソリストとして演奏活動を行い、「演奏」に焦点を当てた真摯で誠実な取り組みにより、オペラやドイツリート、日本歌曲の演奏及び研究に多大な業績を挙げ、東海地方を代表するバリトン歌手として高く評価されている。また、名古屋二期会副理事長や音楽大学の講師として後進の育成に尽力するなど、本県芸術文化の振興と向上に貢献し、今後もその活躍が期待されている。</p>



経歴・業績・近年の活動内容
<p>【略歴】 愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業及び大学院修了、ウィーン国立音楽大学リート科卒業。平成13年度、東海地方を代表するバリトン歌手として高く評価され、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞する。新・波の会日本歌曲コンクール声楽部門第2位入賞、ウィーンでの声楽コンクール第2位入賞、イタリア声楽コンクール入選。1977年モーツァルト「魔笛」のパパゲーノ役でオペラ・デビューする。その後ウィーンに留学し、ウィーン国立音楽大学にて発声、リート、オペラの研鑽を積み、同大学リート科（エリック・ヴェルバ教授）を卒業し、特別生となりハンス・ホッター、アントン・デルモータ両氏の指導を受ける。更にイタリアにてアリーゴ・ポーラ氏にベルカント唱法を師事する。その間、ウィーン・シェーンブルン歌劇場にて「フィガロの結婚」のアルマヴィーヴァ伯爵役で出演する他、ウィーン楽友教会ブラームスザール、ザルツブルク・モーツァルテウムザールでのコンサートを始め、2002年、2005年とローマ夏の音楽祭に招聘されテアトロ・ディ・マルチェロ野外劇場にてリサイタルを開き、好評を得る。オペラの分野では「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「浅茅ヶ宿」「ジャンニ・スキッキ」「道化師」「セヴィリアの理髪師」「魔笛」「ドン・ジョバンニ」「こうもり」「宗春」等のタイトルロールを多数演じ、高い評価を得ている。歌曲の分野ではシューベルトの歌曲をレパートリーとして三大歌曲集「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」等のリサイタルを多数開催し好評を得ている。その他、日本歌曲等のリサイタル、ベートーヴェンの第九、モーツァルト、フォーレの「レクイエム」のソロ等、多岐に渡り活躍している。2010年シューベルト歌曲集「美しき水車小屋の娘」「冬の旅」、2016年日本歌曲「もほろばの響き」CDを全国発売。愛知県立芸術大学、名古屋音楽大学にて後進の指導を経て、現在、名古屋二期会理事長、名古屋外国語大学講師、名古屋音楽学校講師、日本演奏連盟会員、日本歌曲振興会会員、全日本学生音楽コンクール審査員。</p>